

会議名	第3回港区情報システムアドバイザー委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和5年2月8日（水曜日）午前9時から午後1時15分まで
開催場所	区役所9階研修室
委員	出席者5名 水野委員、西川委員、山辺委員、高倉委員、川口委員 欠席者 無し
事務局	総務部情報政策課
会議次第	1 開会 2 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 （1）A事業者 （2）B事業者 （3）C事業者 3 二次審査結果及び事業候補者の選定について 4 閉会
配付資料	・ 次第 ・ 資料1 座席表 ・ 資料2 二次審査実施概要 ・ 資料3 採点基準表（二次審査） ・ 資料4 一次審査・二次審査集計結果 ・ 参考資料1 一次審査集計表 ・ 参考資料2 第2回選考委員会議事録
会議の内容	
委員長	<p>【1 開会】</p> <p>～委員長から、開会のあいさつ～ ～詳細省略～</p> <p>【2 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】</p> <p>事務局はA事業者を入室させてください。以降、B事業者の提案説明終了時までの進行は、事務局にて行ってください。</p> <p>（A事業者入室） A事業者プレゼンテーション実施 （参加者紹介） ～詳細省略～ A事業者ヒアリング実施</p>
事務局	各委員は挙手の上、質問を行ってください。
A委員	1番最初に話していただいた方と、プレゼンを実施していただいた方は、そ

A事業者	<p>れぞれどのような役割でしょうか。</p> <p>プレゼンを実施したものは業務責任者で、1番最初に話したものは統括責任者で、業務責任者のさらに上司になります。</p>
B委員	<p>3点質問があります。</p> <p>1点目です。提案書の中で、システムアセスメントをシステム化するとありますが、システム化までの期間はどれくらいを想定しているのか、システム自体はこの部署が所管するのか、また今回の提案の見積価格にシステム化の経費が含まれているのか教えてください。</p> <p>2点目です。システム運用監理支援の部分で、共通部分の整理を行って、システム運用保守を共通化しますとありますが、具体的に何を共通化するのでしょうか。また、他自治体で同様の業務を行った実績はありますか。</p> <p>3点目です。情報システム継続対策の最適化の部分で、ICT継続マニュアルの見直しなどを提案いただいています、実際にアドバイスを行う方法や体制等について、教えてください。</p>
A事業者	<p>1点目について、システム化したものは情報政策課が所管課になります。期間については、8月までに基礎検討を行い、構築は10か月程度を想定しています。今回の提案の見積価格にはシステム化の経費は入っていません。</p> <p>2点目について、各システムで業務フロー等をまとめたマニュアルや、システムのインターフェースなどを共通化していこうと考えております。</p> <p>3点目について、支援全般についてですが、オンラインではなく、対面で支援を実施します。また、具体的な支援方法としては、現状のマニュアルを確認し、課題を抽出し、改善を図ることを考えております。</p>
C委員	<p>システムアセスメントのシステム化について、システムは新たに構築するのか、既存のパッケージを活用するのか、現時点の想定を教えてください。</p>
A事業者	<p>システム化については、港区が使いやすいように新たに開発することを想定しています。ただし、入力情報については既存の構成管理書の情報を有効活用します。</p>
D委員	<p>区が提示した支援業務は複数あるため、支援業務の対応時期が場合によっては集中することもあることが想定されますが、業務の時期が重なる部分についてはどのように考慮されていますでしょうか。</p>
A事業者	<p>支援業務ごとにリーダーを設置し、さらにその下にメンバーがいる体制を想定しているため、業務のピークに合わせてメンバーを対象業務に寄せるなど、柔軟に対応していくことを考えております。</p>
E委員	<p>メンバーの業務実績について、DXやBPR支援の他自治体の実績の詳細について教えてください。</p>
A事業者	<p>越前市や東京都私学財団などはDX推進やBPRで支援を実施していて、申請の電子化などを行っています。また、自治体ではございませんが民間企業でも複数支援を実施している実績があります。</p>

B委員	アドバイザー業務に関して、今回の契約は1年になりますが、長期を見据えて実施するプロジェクトの提案も頂いています。今回仮に業務を請負われる場合には、最後まで責任をもって実施いただけるということによろしいでしょうか。
A事業者 事務局	このメンバーで最後まで実施させていただきます。 それでは、時間になりましたので、以上でA事業者の提案説明を終了します。 (A事業者退室) (B事業者入室) B事業者プレゼンテーション実施 ～詳細省略～ B事業者ヒアリング実施 各委員は挙手の上、質問を行ってください。
A委員	仕様書には、現行業務に対する課題が記載されていますが、現行事業者に対する課題があるとも考えられます。これらをどのように解消していくことを考えていますでしょうか。
B事業者	支援業務の効率化を図り、効率化によって得られる余剰分を新たな業務や課題解決に繋げていくことを考えております。 仕様書には5年前と違った新しい取組があるので、新しいメンバーも含め取り組んでいきます。
B委員	この5年間の中での課題の解決や到達点について、1つ挙げてください。
B事業者	システムアセスメントにおいて、多様なシステムの導入がありましたが、適切に評価できています。
B委員	今回提示している仕様書の中で、最も大きな課題として捉えているものを挙げてください。
B事業者	区のシステムの情報を一元的に管理する仕組みを構築することが一番大きなポイントとして考えております。一元化することで、何か施策を実行するにおいても、港区における意思決定のスピードがより一層早くなるのではないかと考えております。
B委員	構成管理書を一元化する手法としては、どのような形を想定しておりますでしょうか。また、完成時期としてはいつを考えておりますでしょうか。
B事業者	構成管理書の項目を精査し、誰でも見られる形がベストだと考えているため、M365の機能等を使って一元化することを想定しております。現状の情報を一覧化することについては、5月初旬くらいまでにはまとめられると考えております。
C委員	システムアセスメントの要求事項の部分で、常駐に関する要件がありましたが、こちらが要望する常駐期間や日数については、対応できる認識でよろしいでしょうか。
B事業者	対応いたします。
C委員	DX展示会の開催について、支援というよりは主催していくという意識で実施

B事業者	していただくことを区では想定していますが、認識に問題はないでしょうか。
D委員	認識に問題はありません。
B事業者	区が挙げている課題以外で、認識している課題はありますでしょうか。
E委員	情報セキュリティに関して懸念があります。現状、構成管理書から漏れてしまっているものがあり、セキュリティが担保できていない現状があると考えています。スタンドアロンの端末1台についても、セキュリティ対策を施し、不慮の事故を防ぐことが重要だと考えており、そのような取組も支援していきたいと思っております。
B事業者	体制についてですが、密接な情報連携と記載されているのは、具体的にどのようなものを想定しておりますでしょうか。
E委員	週1回程度、関係者間で連絡会を実施し、支援内容の進捗を共有することを考えております。また、支援項目を詳細なタスクに分割し、バックログという管理ツールに登録することで、抜け漏れを防ぎます。
B事業者	提案書に記載されている体制は、他の自治体でも同様の方法ですか。
E委員	フロントオフィスとバックオフィスで分ける体制については、他の自治体でも同じようにやらせていただいています。
B委員	情報セキュリティ教育の関係で、セキュリティ教育計画書を作成することになっていますが、具体的にどのような内容を記載し、どのように活用するのかイメージを教えてください。
B事業者	セキュリティ教育を年間通してどのように実施していくのかを記載した内容になります。教育の方針や実施時期等が盛り込まれており、セキュリティ教育を推進するための計画になります。
B委員	情報政策課が実施する区の職員に対するセキュリティ教育を遂行するための手順書というイメージでよろしいでしょうか。
B事業者	ご認識のとおりです。
事務局	<p>それでは、時間になりましたので、以上でB事業者の提案説明を終了します。</p> <p>(B事業者退室)</p> <p>(C事業者入室)</p> <p>C事業者プレゼンテーション実施</p> <p>～詳細省略～</p> <p>C事業者ヒアリング実施</p> <p>各委員は挙手の上、質問を行ってください。</p>
A委員	行政機関や地方自治体の経験があまりないようですが、地方自治体への支援において特に気を付けるべきこととして認識していることはありますか。
C事業者	支援に入る際に、なるべく皆さんへの負荷をかけずにということ意識しています。自治体の担当者が案件を重複で持っていたり、リソースが限られていることが多くの局面であったので、こちらから提案させていただき、負荷をなるべくかけない形で支援をさせていただくことを意識しています。

A委員	地方自治体では職員のモチベーションやマインドにばらつきがあるため、笛吹けど踊らずといった状況に遭遇することが多々あると想定されます。その際にどのようなアプローチを検討されますか。
C事業者	実際にどこがモチベーションの阻害要因になっているのか、コミュニケーションで解きほぐす作業までを実施することを支援したいと考えております。
A委員	手厚く支援するという点は理解できますが、今回提案いただいている稼働メンバーと稼働量と単価を見たときに、それを賄えるだけの稼働量になっているのか気になります。配置計画を見ても、兼任が多く、専任はほぼいない状況です。一方でスタッフとして100%従事し、専任される予定の3名が気になります。
C事業者	兼任のメンバーでも定例会に出席するのは間違いのないですし、調整の局面等ではペアで動くような形で案件を推進していきます。また、専任のメンバーは地道に駆け回る形で支援させていただこうと考えております。兼任のメンバーについても、すぐに駆け付けられるような体制で考えております。
A委員	専任のメンバーについては、港区で机を用意すれば常駐していただけるイメージでよろしいでしょうか。
C事業者	ご認識のとおりです。
B委員	港区が実施しているDXの取組などで、特徴的なものや印象的な部分があれば教えてください。
C事業者	地域の活性化に対して、キャッシュレス決済事業者と協力し、港区で飲食をしたら還元する取組は印象的です。港区がそのような取組をいち早くトライされているところは特徴的だと考えております。
B委員	セキュリティの関係について、区のセキュリティに関する質問について対応を行いますと記載がありますが、これは情報政策課だけでなく、情報政策課以外の部署についても対応いただけるのか、またどういう形で支援いただけるのか、イメージがあれば教えてください。
C事業者	支援対象ですが、限定せずに全般の問い合わせについて対応するつもりです。課題一覧のフォーマットについては調整かと思いますが、エクセルなどでQA表のようなものをやり取りさせていただくことを考えております。
B委員	支援については、質問があれば対応しますという待ちの姿勢という認識でよろしいでしょうか。
C事業者	この支援項目については、いただいた質問に対して回答するイメージですが、システムアセスメントと関連して、セキュリティに関して出てきた課題と合わせて、課題一覧として解消するまで管理していくことを想定しております。
B委員	システムアセスメントについて、申請から評価までの時間が課題となっておりますが、どのように対応していくことを考えておられますでしょうか。
C事業者	評価自体に時間がかかっていることが原因として考えられます。このようなシステムアセスメントのようなチェックリストは、私たち自身も作成することがありますが、どのように回答したらよいかわからないといったケースが多々あ

C委員	<p>ります。そのため、申請書の項目自体を見直すことを中心に取り組むことで、申請から評価までの時間をスリム化していけると考えております。</p> <p>メンバーの中で出向している方が数名いらっしゃいますが、アドバイザー業務に確実に参加できるのかという点を確認させてください。また、公共部門があるのかどうか教えてください。</p>
C事業者	<p>現時点で出向中と書いてあるメンバーについては、アドバイザー業務が受注できれば、アサインできよるように戻ってまいります。また、弊社についてですが、公共部門がございます。実績はまだ少ないですが、経済産業省などの経験がございます。</p>
C委員	<p>体制についてですが、当初のメンバーが継続的に区の業務に従事してくれることが重要だと考えています。メンバーはコミットいただける認識でよろしいでしょうか。</p>
C事業者	<p>コミットさせていただきます。実績は少ないですが、お役に立てると自負しております。役職のついたメンバーが実際に現場で手を動かし支援を行い、組織としても体制を維持できるよう対応していきます。</p>
E委員	<p>アドバイザーの業務では、アウトプットは計画書や報告書ですが、実際には、品質や互いの意識合わせが重要になると思います。そのあたりの対策について教えてください。</p>
C事業者	<p>資料や計画書を作成する際には、必ず一旦ひな型を作成し、その段階で提示させていただきます。意見があれば改善するなど、イメージと異なるものにならないようにコントロールしていきたいと考えております。</p>
D委員	<p>今まで経験された案件で、委託先の監査の経験有無について教えてください。また、情報セキュリティ監査を5カ所実施する要件がありますが、指定管理者の監査についてどのように想定されているか、考えをお聞かせください。</p>
C事業者	<p>委託先の監査については、サポート業務を実施した実績がございます。また、指定管理者のイメージとしては、システムを納品されて、実際に運用されている業者をイメージしました。</p>
事務局	<p>それでは、時間になりましたので、以上でC事業者の提案説明を終了します。 (C事業者退室) (審査結果について事務局集計)</p>
委員長 事務局	<p>【3 二次審査結果及び事業候補者の選定について】</p> <p>二次審査結果について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>A事業者の二次審査評価点は、618点となりました。一次審査と二次審査を合わせた合計点は、2,149点で、合計得点率は74.1%となりました。(2位)</p> <p>B事業者の二次審査評価点は、600点となりました。一次審査と二次審査を合わせた合計点は、1,980点で、合計得点率は68.3%となりました。(3位)</p> <p>C事業者の二次審査評価点は、672点となりました。一次審査と二次審査を</p>

	<p>合わせた合計点は、2,153点で、合計得点率は74.2%となりました。(1位) また、二次審査において委員の間で3段階評価が分かれた項目を色分けしています。</p>
委員長	<p>これより意見交換を行います。評価を踏まえ、これまでの評価の全体の印象、委員との間に差が開いた項目の理由を含めて、ご意見をお聞かせください。</p>
C委員	<p>本日のプレゼンの内容を踏まえて、最も印象がよく、結果的に高く評価したのはC事業者です。行政での業務経験が少ないことから、回答についても行政について理解していないと見受けられる部分はありましたが、システムに関するスキルが高い様々な知見が伺え、よい提案でした。今後、積極的に業務を遂行してもらえると感じました。一方でB事業者は平均的な内容でした。また、A事業者については、提案内容は良かったものの、体制面での回答に不安を感じました。</p>
D委員	<p>A事業者の印象が最もよく、提案内容についても実現性があると考えました。B事業者は、質問に対する回答が非常に誠実で明確に回答していると感じたため、その点については評価しています。また、C事業者については民間企業での実績はあるものの、行政機関での経験が少ないことや、質問に対する誤った回答があったため不安を感じました。</p>
A委員	<p>C事業者が納得するプレゼン内容で、業務実施への積極的な意欲がみられ良い印象でした。また、自治体に対しての経験は乏しいですが、少なくともそれをキャッチアップし、区のパートナーとして業務を遂行できるポテンシャルがあると感じました。一方でA事業者やB事業者については、体制面等での不安があり、業務を遂行できるかどうか不安を感じました。</p>
B委員	<p>C事業者はプレゼン内容が全体的に良く取組意欲が高かったと感じました。B事業者は質問に対する回答が長く分かりづらい部分がありました。A事業者は体制面で不安を感じました。</p>
E委員	<p>各事業者のプレゼンではあまり差を感じませんでした。ただし、C事業者については体制的にも3名常駐させることや、役職を持ったメンバーが現場に入る点など、取組意欲やパートナーとしての能力が非常に高いと感じました。</p>
委員長	<p>委員のみなさまの意見を踏まえて、採点の修正はございますでしょうか。</p>
	<p>(一同、意見なし)</p>
委員長	<p>採点内容について、修正はございませんでした。</p>
	<p>それでは、当委員会として、C事業者を候補者として決定してよろしいですか。</p>
	<p>(一同、異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、事務局が評価をとりまとめた結果、1位C事業者、2位A事業者、3位B事業者となりましたので、C事業者を候補者として決定します。</p>

委員長	【4 閉会】
事務局	予定された議題は終了しました。最後に事務局から連絡事項をお願いします。
委員長	(事務局から連絡事項) それでは、以上をもちまして、第3回港区情報システムアドバイザー委託事業候補者選考委員会を終了します。